

令和7年度 北区組織目標

組織名	北区	部長	丸 山 寛
組織の目的・方向性	北区区ビジョンまちづくり計画に掲げる区の将来像の実現に向け、魅力をさらに発信し、より良いまちづくりを進めていきます。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標※	・日頃から災害に対する備えをしている市民の割合 ・新潟市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合 ・一人当たり市民所得 ・地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがあると回答した児童生徒の割合		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

北区組織目標

「潟と大河と日本海、水の恵みに育まれ、人と人がつながり、心豊かに支え合い、発展するまち」を区の将来像に掲げ、北区の強みである自然環境の魅力、若者の発想、民間企業の専門的知見を生かし、多様な団体と連携して、住み続けたいくなるまちづくりに取り組みます。

重点目標

- 1 避難スペースの確保に一層努めるとともに、発災当初から円滑に避難所を開設・運営できるよう、地域住民、施設管理者、行政職員の3者連携のもと、平時からの避難所ごとの運営組織立ち上げを推進します。
- 2 自然環境を環境教育や自然体験の場、地域づくりの場、ふれあいと憩いの場として活用します。
- 3 既存施設を活用するなど、地域との連携を図りながら、子どもたちが安心して過ごせる居場所を確保します。
- 4 地域商業活性化に向けた取り組みを行い、新規誘客及び賑わいの場創出を目指します。
- 5 市民に幅広く除雪業務の啓発を行います。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	5
取組結果	1 避難所運営組織の立ち上げについて、葛塚地区と長浦地区でワークショップ及び避難所運営訓練を実施し、新たに8つの組織を立ち上げました。 2 水辺ふるさとづくりとして、ひょうたん池や十二潟、濁川自然生態観察園において、地域団体と協働で自然観察会や保全活動等を実施しました。 3 出張児童館事業は、240回実施、延べ4177名が利用し、1年を通じて恒常的にこどもたちの居場所を確保しました。 4 地域商業活性化については、露店市場を活用し、葛塚エリアで「うまいもん市場」、松浜エリアで「こらっせ松浜市」「ファイト！松浜市」を開催したほか、区役所庁舎を活用して「キテ・ミテ・キタ区フードフェスタ」や「うまいもん夜市」を開催するなど、賑わいの場を創出しました。 5 除雪業務の啓発については、区のイベントへのブース出展による啓発活動や				

	小学校や中学校で出前講座を行うなど幅広い世代に向けて事業を実施しました。
今後の方向性	1 避難所運営組織に関する取組として、運営組織未結成の避難所への呼びかけのほか、結成済の避難所に対する訓練実施支援など実践力を強化する取組を行います。 2 水辺環境の保全については、近年、環境変化がみられることから、希少動植物の保護や外来動植物対策などの保全活動を地域との協働で行っていきます。 3 出張児童館は好評いただいていることから、引き続き、各地域にこどもの居場所が確立できるよう、事業を継続していきます。 4 地域商業活性化については、さまざまな世代や家族連れが訪れ、露店市場の活性化や区役所庁舎の賑わい創出に繋がっていることから、内容を工夫しながら取り組めます。 5 除雪の啓発については、令和7年度の実施内容に加え、地域からの要望も聞きながら、幅広い活動を行っていきます。